ASTAGE College

MAKE TOMORROW
A LITTLE BETTER

社会に学ぶ　社会の中で学ぶ　社会の一員として学ぶ

September
2026.9

株式会社 山本博工務店

色々な職人が集まって1つの家を建てる。
皆をまとめ上げるには、
様々な知識と気配りが大切なんです。

山本 容子さん
（㈱山本博工務店　取締役）

杉田さん
（㈱山本博工務店　総務）

延原さん
（㈱山本博工務店　現場監督）

服部さん
（㈱山本博工務店　コーディネーター）

今回、ご訪問させて頂いた株式会社 山本博工務店さんは、創業69年目を迎える老舗企業。しかも業種は大工さんが手仕事で建てる日本伝統の木造建築をメインとした工務店。さぞや古めかしいお話になるかと思いきや、近代的で窓の大きな明るい雰囲気の事務所から見学会がスタートしました。ご挨拶も早々に車で移動した先は、山本さん（写真右上段）の実母が暮らす同社のモデルルーム的な家屋でした。

お家に入ると、早速、木造建築のそれとわかる香りが出迎えてくれます。「どこもかしこも大工さんの手仕事で出来ている。」とのことでしたが、モダンなデザインや太陽光発電で家屋全ての電力を賄い、全館空調で季節を問わず一定の温度で過ごせるとのことですから、近代的というか未来的な印象で、見学した一同は「へぇ～、すご～、良いなぁ～。」と口を揃えておりました。家屋の見学を終えると1階の広間に集まり、3名の社員さんにそれぞれお話を伺いました。

まず最初にお話を伺ったのは、入職32年目になる大ベテランの延原さん。「小さな頃からものづくり好きが好きだった。」という延原さんは、現在は現場監督を担当。家屋一棟を建てるのに携わる数多くの職人や業者をまとめ挙げる目配り・気配りの大切さと、最高の仕事で施主さんの希望を叶える大工仕事の醍醐味を教えてくれました。長年の夢であった「自分の手で自分の家を建てること」も近々実現の運びとのことで、本当にこの仕事を愛していることが伝わってきます。

次にお話を伺ったのは、現在はコーディネーターとして施主さんと大工さんの間をつなぐお仕事をされている服部さん。服部さんのお父さんも家屋建築に携わる内装業を営んでおられたことから、「小さなころから家の間取りを書くのが好きだった。」というエピソードを話してくれました。不動産関係にお勤めだった服部さんは、ある古民家再生事業で同社とつながり、大工さんの造詣の深さと見事な手仕事に惚れて、同社への転職を決意されたとのことでした。

3人目のお話は「この工務店で生まれ育った。」という杉田さん（旧姓 山本さん）。幼い頃から沢山の大工仕事に囲まれて育った杉田さんは、子ども心に「大工さんって格好ええなぁ～。」と思っていたそうです。それでも、工務店を継ぐつもりなく実家を離れた杉田さんでしたが、大人になり様々な視点が広がる中で、祖父の代から続く会社が沢山の職人や協力業者、そしてお客さまという多くの人々に支えられて存続してきたことに気づき「この温かい工務店を、これからもずっと続けていきたい！」との想いから経営に携わる様になったそうです。

最後にお話し頂いた山本さんからは、「大切にしているのは、自然環境への配慮と、もったいないという心だ。」と教えて頂きました。山本家のルーツでもある三重県熊野の良質な材木を使用し、大工さんを含む沢山の職人さんの手仕事で家を建てることは、日本の風土に最も適した材料とそれを知り尽くした大工さんの手仕事により、家を長持ちさせるという最大のタイパ・コスパを実現しれくれます。また国産材を循環させることで、山林の保全を行う林業を支え、里山の保全にもつながる。海外の比較的安価な資材を使う為に要する無駄な輸送コストも削減できるという、様々な波及効果も期待できるとのことでした。

参加したメンバーからも、「大工さんの仕事の細やかさや、木を適材適所に活かす職人技に感動した。」「家の耐震性や歴史について深く知ることができた！」といった感想が寄せられ、大工さんたちが持つ技術や、人の手が生み出す建物だけが持つ温かさに触れる貴重な時間となりました。山本さん、(株)山本博工務店の皆さん、貴重な時間と学びを有難うございました！

株式会社 山本博工務店
■〒533-0013大阪府大阪市東淀川区豊里7-26-7
■電 話：06-6327-0066
■営業時間：９：00～18：00
■業務内容：住宅建築、家屋の修繕、自作堂大工塾（大工職人育成）、子ども体験教室 など

私の仕事の選び方

バラバラに見えた自分のキャリアも、今の仕事に全部つながっている。

稲田 豊さん
（midorisデザイン事務所 代表）

女の子にモテたい一心でイラストレーターの世界を目指した稲田さん（本人談）。自作イラストの路上販売にも挑戦し、1日で100枚以上を販売したエピソードもあったそうです。もちろん、それだけの収入では食べても行けず、カラオケ店員、キャバクラボーイ、大手テレビ局報道部アシスタントなどなど、色々なアルバイトを経験されました。その結果、テレビ局のカメラマンさんの紹介で有名イラストレーターと出会い、現職にもつながるデザイン事務所に転職を果たしました。一見、バラバラにも見えた稲田さんの仕事選びですが、それぞれに接客力であったり、スタミナであったり、その時々で身につけた事が今の仕事に活かされているとのこと。

点と点が一本の線で結ばれるような感覚。常に楽しい方を選びながら、人に感動を与えるという使命に燃える稲田さん。自然農法による農業経営やボーイスカウト指導など、パワフルにその活動を広げておられます。「人生に無駄なものなんて一つもない」とはよく言いますが、「無駄で終わらせない」という真髄を稲田さんから学びました！

midorisデザイン事務所
■〒561-0811　大阪府豊中市若竹町1-17-10
■電話：06-6967-3327
■業種：グラフィックデザイン・ロゴデザイン

ストレッチ呼吸

筋肉はさすってあげると緩む。筋肉が緩むと心も緩む。

3回シリーズの第2回となる今回も、先ずは基本となる「心と脳の関係」「心と運動や五感の関係」をおさらいし、ゆっくりとした呼吸と共に、カラダの色々な部位を動かしていきました。

テニスボールを足の裏でコロコロ（触覚）すると、自然と姿勢が整います。首を後ろに回しにくい人も、背後にある目標物を見よう（視覚）とすると、スッと首が回りました。

その他、様々な感覚刺激と呼吸や運動を40分ほど終えた参加者からは「カラダが軽くなった。」「朝のモヤモヤが晴れた。」と嬉しい声が沢山寄せられました。

優さんからは「身体の部位を自分で軽くさすってあげるだけで、その筋肉は緩むんですよ。子どもたちは、抱きしめられたり頭をなでられたりする機会が沢山あるから、心も身体も柔軟でいられるんですよね。」と、なるほどのコメントを頂きました。

心が重たい、悩みや不安が減らないといったお悩みはよく聞きます。そんな凝り固まった心を、ゆっくりとした呼吸や感覚刺激でゆっくりストレッチみてはいかがでしょうか？

佐々木 優さん
（No.1 HEROES）

スポーツメンタルコーチ No.1 HEROES
■連絡先：no.1heroes.ueda@gmail.com
■事業内容：小学生から実業団チームまで、様々なアスリートのコーチングを実施。

椅子ヨガ

重たい頭をずっと支えてくれてる首や肩に「ありがとう」って言おう。

ヨガインストラクターの他に、絵本作家やキルト作家というマルチタレントで活躍されてる晴美さんに、「椅子に座ってできるヨガ」を学びました。

「ヨガと聞くと難しいポーズをするイメージがあるかもしれないけど、ヨガの本質は呼吸法にあるんですよ。」とのお話を聞いた後は、椅子の上でゆっくりとした呼吸法から学びました。鼻から吸って、またゆっくりと鼻から出す。この基本の呼吸法をしばらくするだけで、カラダがポカポカしてきます。

呼吸を整えながら、頭、首、肩と順番にカラダの各パーツを、椅子の上でゆっくりと動かすと、ほんのりと汗もにじみます。

「5kgもあると言われている頭をずっと支えてくれている首や肩に『いつもご苦労さん、ありがとう！』って気持ちでそっと手を当ててあげるだけで、スっと筋肉が緩んでいくのがわかりますよ。」そんな晴美さんの声に合わせて、自分の大切なカラダと対話しながら、普段の労をねぎらう大切な時間になりました。

吉田 晴美さん
（ヨガインストラクター）

私のシラナイ世界
“雇用する側の視点”

採用側も悩んだり心配したり…。皆さんと同じ人なんですよ。

君嶋さんは、長らく企業の人事畑を歩き、現在も人事コンサルとして第一線で活躍されています。そんな企業感覚バリバリの視点ですから、さぞ厳しいコメントが飛び交うかも…との想像もありましたが、全く逆で、伝えられる言葉はシンプルに「誠実さ」でした。

「人が起きて活動する時間の半分以上。場合によっては家族よりも一緒に居る時間の長い職場のことですから、何より会社にいる時の自分が好きでいられるか？というのがポイントです。」と君嶋さんは問いかけます。続けて「そう考えると、採用面接は試験ではなくお見合い。お互いが誠実に自分のことを表現しあいながら、この人で良いか？この会社で良いのか？と考え合う作業なんですよ。」と話をして下さいました。

「採用したら終わり…という訳ではない。その人が働き続けてくれて、活躍してくれることが喜びだし、勿論、そういう結果にならずに、経営者や部署から厳しいクレームを受ける事だってあるんです。採用する側も悩んだり心配したり…。皆さんと同じ人なんですよ。」と締めくくってくれました。

合同会社 ワークウェルネス研究所
■〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4 大阪駅前第4ビル923
■業務内容：人事トータルコンサルタント、メンタルケア支援 他
■連絡先：Webサイトお問合せフォームより

私のシラナイ世界
“結婚相談所”

良くなりたいと思って努力する人から結婚していきますね。

「婚活」はよく聞くワードだけれども、実際は…？といった観点で、先ずは結婚相談所の仕組みから伺いました。

「入会金は22万円で月額が1.6万円で…。」とリアルな金額や登録者数の多さを聞いて一同ビックリ！利用登録後に始まるの個別カウンセリングを中心にサポートするのが大石さん流。ああしなさい！とか、こうしなさい！という指図はせず、「どうしたいですか？」と問い続けながら、その方の希望や課題に寄り添っていくそうです。経験豊富な大石さんにズバリ上手くいくタイプのポイントを尋ねると…

☆ 清潔感のある人
☆ 相手の話をよく聞く人
☆ 良くなりたいと思って、努力する人
☆ 自分からギブ（協力・貢献）出来る人

こうして見ると、婚活だけでなく、人付き合いや社会活動にも通じるポイントばかり。洗濯や洗顔など当たり前の身だしなみや、相手の気持ちや立場を尊重した関わり方など、何事も「凡事徹底」が大切と学んだメンバーたちでした！

結婚相談所BLANCA
■〒541-0053 大阪市中央区本町4-2-12
野村不動産御堂筋本町ビル8階 billage大阪
■連絡先： 080-3525-6156

よのなか探訪

夢を言葉にし続け、行動をし続ける人に、神様はご褒美をくれる。

この企画は、永井さんが毎年行っておられるもので、７月７日までに短冊に願いを書きこんで、翌朝７月８日に、地域の氏神さんである御霊神社さんで祝詞をあげてお焚き上げしてもらうという本格的なもの。果たしてそのごご利益は…といいますと、永井さんがある年の短冊に願いを書いてから６年後、『パリコレクションの大舞台に立つ』という願いを実現された実績があります。『ホンマかいな…!?』と思う方もあると思いますので、少し補足説明をしときます。

ある年の七夕に短冊に何を書こうか迷いながら『パリコレ』と頭に浮かんだままに記入。書いたはいいけど、周囲のデザイナー仲間に尋ねても、パリコレに出る方法なん誰一人て知りませんでした。それでも出たい！という気持ちを事ある度に『パリコレに出ます！』と言い続けた永井さんにとってそれは、叶うかどうかの夢ではなく、たどり着く現実的なゴールとなり、6年の歳月をかけて夢の舞台に立つことが出来たそうです。
夢を言葉にし続け、現実に変えるための行動を選択し続ける人に、神様はそっとご褒美をくれるのかもしれませんね。永井さん、素敵な時間を有難うございました！

StODIM（セントオーディン）
■〒550-0003　大阪市西区京町堀1丁目13-2 藤原ビル 2F
■電 話：06-6459-2377
■業務内容：オーダーメイド婦人服・紳士服等製作・販売

ストレス
マネジメント

自分の考え方一つで
人生は変えられる！

安保さんは九州出身。お父さんの酒癖が悪く、毎晩の夫婦喧嘩の声に怯え、布団にくるまっていたそうです。早い時期から家を出ると決め、勉強に励んだ安保さんは大学進学と同時に家を出るのでした。就職で東京に出て、結婚して、一児の母に。正に順調といった流れの中で、ご主人の広島転勤が決まります。初めての子育ての不安、周囲に頼れる友人も居らず、安保さんのストレス値は一気に高まります。帰りの遅い夫の帰宅を待って夫婦喧嘩をする日々の中で、常に「相手が悪い」と他責思考に囚われていた安保さんを変えたのは、40歳からの再就職でした。

職場の仲間と過ごす日々の中で、他責思考になっていた自分の考え癖に気付き、夫婦関係も一変。改めて「自分の考え方一つで人生は変えられる！」と気付いた安保さんに訪れた次なる試練は43歳の時の大病でした。「子どもの成長を見届けたい！」という強い想いと、夫や家族、職場の仲間など「人とのつながり」に支えられ、この局面を乗越えます。今現在、多くの企業経営者の「良き相談相手」として事業活動を広げる安保さんは「ストレス＝悪ではない。」「人は一人では変われない。時には人に頼ることも大切です。」とメンバーたちに教えてくれました。

株式会社エヌグランディール
■〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田一丁目（以下省略）
■連絡先：Webサイトお問合せフォームより
■業務内容：経営者・管理職のための目標達成型コーチング

お金の価値観

お金はお互いの感謝を表すもの
お金は、ありがとうの交換です。

「みなさんは、お金欲しいですか？」
古山さんからのシンプルでストレートな質問に少しザワついた幕開けでしたが、せ～ので手を挙げると、スタッフ含めて全員が手を挙げました。
続いての質問は「お金があれば、出来る事が沢山増えますが、お金が沢山あると幸せですか？」これまたせ～ので手を挙げると、先ほどとは違って、意見が分かれました。その後のスライドで、GDP（国内総生産）と幸福度ランキング（国連調査）の関係を引用。経済規模で言うと日本は世界第４位ながら、幸福度は世界１４７カ国中、第５５位とのことで、何にお金を払うのか？お金とは何か？幸せとは何か？お金との関係性は？ということを色々と考えるシーンになりました。
振返りでは、「お金に執着すると足元を掬われる」「お金は人・物・事に感謝を伝える道具」といった、かなり深～い意見が参加者の中から沢山生まれました。お金について考える時、そのお金を支払う先にどんな価値があって、どんな気持ちでそのお金を払うのか？そういった自分の価値観が大切だと学んだアスカレメンバーでした～！

暮らしと音楽

カラダを使って音を鳴らして…
感情を表現するのは音楽の原点

5回シリーズとして始まったこの企画ですが、早くも3回目となり、ゆうなさんも参加メンバーもペースがつかめてきた今回は、自分のカラダを使って音を鳴らすボディーパーカッションに挑戦しました！
課題曲である『幸せなら手をたたこう！』に合わせて、手や足、全身をつかってリズムよく音を奏でます。

「♪幸せなら手を叩こう♪パン！パン！」
「♪幸せなら足鳴らそう♪ドン！ドン！」

と、序盤は余裕の展開だったのですが…。段々と難易度が上がり出し、終盤になるとチーム別に音を鳴らしたり、リズムを変えて鳴らし合ったり…、組合わせを変えながら、かなりヒートアップしていきました！

「♪幸せなら全部鳴らそう！
♪手！足！手！肩！胸！ハイッ！ハイッ！」

てな感じで、ゆうなさんも段々と体育会系のノリに…（汗）終盤には、次回の課題曲となる『This is me』を模擬体験。「難しいかなぁ～!?」と心配するゆうなさんを横目に、自然と手や足を使ってリズムをとるメンバーたち。次回に向けてのモチベーションが上がるワンシーンでした～!!

■株式会社キャリアンヌ
■〒531-0076
大阪市北区大淀中2-1-1小川ビル4Fヨリドコワーキン内
■連絡先： info@carrianne.co.jp

氣づきと学び

モジャモジャを持ち続けるって、ホントに素敵だと思う

佐藤 譲さん
（THE CORE 取締役）

佐藤さんのお父さんは転勤族。中学校入学と同時に移り住んだのは、荒れた地域の荒れた中学校でした。中々家族にも相談できない中で「ここを脱出するために…。」と佐藤少年は必死で勉強に励みます。

時は流れ、大学生になった佐藤さんは、参加したある講座を通じて「自分が今、一番興味のある人に手紙を書く」というワークに取組み、あの有名なstudioジブリの鈴木敏夫プロデューサーに手紙を書くことになりました。

日本アニメ界のトッププロデューサーから、まさかの連絡が届いたのは1週間後のこと。そこから話はトントン進み、studioジブリに就職することになった佐藤さんは、鈴木プロデューサーの書生として同居生活を始めるというマンガの様な展開に…。

そこからのお話は、ジブリ時代やテレビ局時代の激務と心身の疲労、そこからの復活と、正に氣付きと学びに溢れたものでした。佐藤さんからは「モジャモジャした気持ちを持ち続ける事（Mojarity）って、ホントに素敵だと思います。」と私たちにとっても、嬉しいエールを頂きました。

■株式会社THE CORE
■〒101-0054東京都千代田区神田錦町3-15NFT竹橋ビル7F
■活動内容：クリエイターのプロデュースを中心に、オンライン寺子屋「朝礼だけの学校」校長や人形劇パフォーマーとしても活躍

人生グラフ

自分で気付いた事だけが自分を変えられる

川原さんには、実父・養父・継父と３人のお父さんがいます。実父とは０歳の時に、養父とは中学生になる頃に生活を別にしました。その養父から過度な愛情とDVを受けていた川原さんの自己認知や価値観は歪み、深い心の傷と共に、その後の人生に多大な影響を及ぼします。

仕事で一番の成績を収めても、幸せな結婚を迎えても、心の満足は得られず、相手を責めてしまう自分がいる。何度も何度も壁にぶつかり、書籍や学びに答えを求めますが、結局は自分で気づくしか方法はなかったと川原さんは振返ります。

「養父や母への憎しみを感謝に変える」「元夫へ謝罪の手紙を出す」「実父との再会」という大きな壁を乗り越えた川原さんは、よくやく「自分も幸せになっていいんだ。」と心から思えるようになったそうです。最後に川原さんから、「自分の感情や思考を見て見ぬふりせず、大切に向き合うこと」や「自分が何気なく使う言葉たちが自分自身の考えや行動に強く影響を与えること」についてお話し頂きました。どれも川原さんの実体験からの気付きばかりで、誰の胸もにスッと届くメッセージでした。

川原 優子さん
（ツナグコミュニケーション代表）

■ツナグコミュニケーション
■連絡先：Webサイト、お問合せフォームより
■活動内容：パーソナルコーチング、コーポレートコーチング、企業研修や各種オーダーメイド研修を提供

モジャモジャタイム

アステージカレッジで大切にしている想いの一つに「モジャモジャをハテナに、ハテナをピッカーンにする学校」というフレーズがあります。この想いをプログラムにしたのが、今回ご紹介する「モジャモジャタイム」です。

読者の皆さんも、「どうしてよいかわからない…」「頭の中がゴチャゴチャに混乱していて整理できない…」といった「モジャモジャタイム」を過ごしたご経験が必ずあると思います。一般的には、この混乱し未整理な状態はなるべく少ない方が良いとされていますが、アステージカレッジではその真逆です。

このモジャモジャとした過程やモジャモジャできる能力（＝Mojarity）を持つことが、これからの時代に最も必要な力だと思い、この考えを広めていきたいと思っています。

アステージカレッジでは、写真右上の様な専用のワークシートを使いますが、真っ白な紙に書き出すだけでもOKです。自分の頭の中にある、まだハッキリとはしていないアイディアや想いを、思いつくままに書き出してみる。良いとか悪いとか、上手く書こうとか、色々な感情が湧いてきますが、出来るだけそのままにして書き出していきます。

書き出してみると、「あぁ、自分は今、こんな状態なのかなぁ!?」と、自分で自分に気付くことも案外沢山ありますし、他の人の話も重ねると、「わかる！わかる！」と共感する気持ちも湧いてきます。

What's Mojarity?
Let's Mojarity!

ちぎり絵　何気ない作業の中で気付く、成長の跡

和紙をちぎって貼るだけの簡単な作業のはずなのに、いつの間にか没頭してしまって、黙々とその作業に集中していく。まるで座禅かマインドフルネスのトレーニングみたいな、シーンっとした時間になりました。

和紙をちぎる時の繊細な指先の力加減。思い通りの形にならないもどかしさを抱えながらも、何とか台紙に貼り付けます。指先にはベタベタとした糊の感覚もあって、一筋縄では進みません。

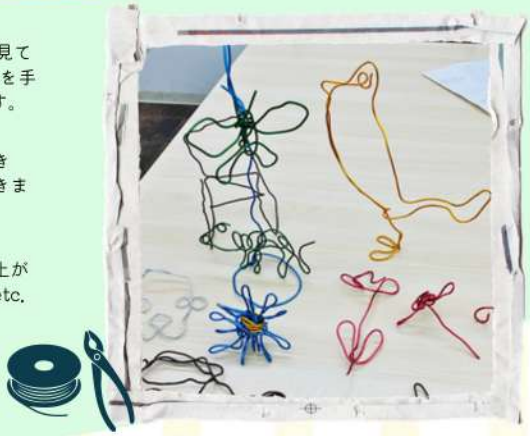
以前なら、途中でイライラしていたあの人も、周りの仲間たちの集中力が伝染していって、最後まで手を止めずにやり切っていました。こんな瞬間を見ることが出来ると、人の成長や変化って素晴らしいなと思う訳です。

ワイヤークラフト　作品から伝わるその人のキャラクター

クラフト用の柔らかな針金をつかって造形物をつくるワイヤーアート。YouTubeで見ていると、「なるほど、そうするのね！」とイメージが湧くのですが、いざ、ワイヤーを手にしてみると、どこからどの程度曲げればいいのだろう…と不安になってしまいます。

勇気を出して曲げ始めてみると、今度はドンドン曲げたくなってきて、準備した設計図もなんのその、ドンドンと自由に作り出していきます。この辺は、作品作りの工程に性格が滲んできますね（笑）

設計図どおりにキッチリ作る人、平面よりも立体が得意な人、出来上がった作品への想いやストーリーを話したくてウズウズしている人…etc.
それぞれの個性が見える時間となりました！



コットンボール　完成よりも、その過程に多くを学ぶ

初めて挑戦した「コットンボール」ですが、皆さんはご存じでしょうか？
膨らました風船の周りに刺しゅう糸などをクルクルと回して、糊やボンドを塗って、乾燥させてから風船を取り除くと、コットンボールの出来上がり～！となるのですが…。

先ず、風船を膨らませて、それを縛るという工程に大苦戦！風船に上手く空気を送れない人、空気は入ったけど、上手く縛れない人などなど、出だしから大苦戦したメンバーたちでした。

風船が膨らんで、さぁここから糸を巻いていこう！となると、
今度は刺しゅう糸が絡まる、絡まる（笑）
球体である風船の巻きにくさも相俟って、進んだと思えば立ち止まって、諦めそうになるけど、またやり直して…。

こうして見ていると、あぁこの人も成長したなと思う瞬間があります。本人に直接聞くと「あの頃は怒り散らしてたもんな～。」と素晴らしいコメントも飛び出しました。
完成を急ぐより、その過程に学ぶのも創る学の醍醐味です。

夏まつり 2026

毎年恒例の夏祭り企画。今年も、タコせんや焼きそばなど屋台メニューを用意して、自分たちで作って、自分たちで食べて、自分たちで楽しむ手づくりイベントとなりました～！

屋台メニューを片手に「人生ゲーム」や「お菓子釣り大会」などを楽しんだメンバーたち。大人になって本気でゲームすると、10円のお菓子釣りあげるだけで、あんなに笑ったり盛り上がったり！オンラインゲーム世代も十分楽しんでくれていました～（笑）

中には「中学や高校の文化祭にはいい思い出がないんです…。」という体験談を教えてくれた人もいました。最後には「こんなに楽しい時間を過ごせてホンマに嬉しいです！」と素直に喜んでくれていました。そんな瞬間に立ち会えてホントに嬉しい時間となりました。

チャレンジクッキング

反省から学んだのは？

今回のチャレンジクッキングは、色々なめぐり合わせもあって、男性ばかりの料理道場となしました！今回はその調理後の振返りのシーンをご紹介します。

「目の前の工程に集中し過ぎて、周りが見えなくなるんです。」
「確認するのを忘れて、調味料を別の料理に入れてしまいました。」
「包丁作業をしている人の後ろを通る時に、声掛けを忘れていました。」

準備をして本番に臨んでも、やっぱりミスやアクシデントが起こるものです。

「そのミスを予測してましたか？（予測義務）」
「予測に基づいた準備はできていましたか？（対処義務）」

労働場面では「ヒヤリハット」や「リスクマネジメント」と表現される大切なテーマを、調理場面を使って学んだ一日でした。

☆ 今回のMENU ☆
・夏野菜の揚げびたし
・胡瓜とミョウガのさっぱり和え
・簡単！牛羽元

THANK YOU
ここで過ごした、大切な思い出
初めてここに来た日
初めて話しかけてくれた仲間
初めての先輩になった時
初めての企業実習
お世話になった皆さんに、
感謝を伝えることが出来た今日

ビジター参加の皆様 VISITOR

ASTAGEカレッジでは『共に学び合い、共に教え合う』ことを目的に、積極的にビジター参加を受け入れています。
様々な経験や異なる立場を持った方々が出会い、共に歩むASTAGEカレッジに来てみませんか？
皆様のご参加をお待ちしております。

大崎麻佐子さん
さちたび屋

なかたに 美樹さん
臨床美術士

川原優子さん
ツナグコミュニケーション

太田賢佑さん
㈱CLAN

田渕美恵さん
明治安田生命保険相互会社

島津郁代さん
㈱ブライトプライズ

宮田博文さん
㈱宮田運輸

牧勝之さん
㈱ダイトー

吉田 弘人 さん
総合探偵社さくら

天知翔大さん
無名劇団

坂下朋子さん
HITOLAUGH

堤芳亮さん
株式会社ステップ

米倉実佳子さん
ラディアンス・ケア

中野一生さん
出張すしKAZU

岩下綾子さん
いわした行政書士事務所

佐藤天平さん
天天堂

高村江津子さん
㈱エナジーソース

熊野安芸子さん
一社)アビアランスケア協会

島木真人さん
ファイナンシャルプランニング㈱

コイワ ユメさん
映画脚本家

君嶋信子さん
ウェルネス研究所

高尾智仁さん
ぷらすわん

西本英樹さん
数芸笑

芝原健二さん
発達支援ステーション そらっく

社会に学ぶ 社会の中で学ぶ 社会の一員として学ぶ

編集・発行元
ASTAGE college
自立訓練（生活訓練）事業所　アステージカレッジ

〒536-0008
大阪市城東区関目5-3-9-2F
☎06-4400-1882　FAX06-7633-8863
✉info@astage-college.jp

見学や体験は随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください！

- 居場所・仲間づくりをしたい方
- 病や障がいについて相談したい方
- 会社を休職中の方
- 就職サポートを受けたい方
- 不登校・引きこもり
- 家族や関係者からのご相談

■京阪「関目」
■地下鉄
「関目高殿」
「関目成育」
から徒歩3分

■お問合せフォーム　■公式Instagram　■公式WEB